

子ども会新聞

第214号
春号
2022年3月31日

題字 山中 睦夫 氏

子どもの笑顔と
生きる力を育てる



発行責任者：特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会 理事長 齋藤 武
〒112-0012 東京都文京区大塚6-1-14 全国子ども会ビル4階
TEL：03-3946-2340 FAX：03-3946-2341
HP：https://www.kodomo-kai.or.jp/tokyo
E-mail：tokoren@galaxy.ocn.ne.jp



新たな一年の新春を迎えて



特定非営利活動法人
東京都子ども会連合会
理事長 齋藤 武

新型コロナウイルス感染症の蔓延に悩まされる日々が続くなか、お一人お一人が新たな活動を工夫し、困難を乗り越えて新しい年を迎えられたことを、まずはともに祝いたいと思います。

私が新年を迎え皆さんと一緒に考え、そして実際に取り組みたいのは、いかにして子ども会という場をさらに活性化させ、その可能性を広げていくか、ということです。その鍵となるのは、地域でも組織でも、より多くの人びとに子ども会のあるべき姿の議論に積極

的に加わっていただくことだと考えています。

特に一昨年以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校の休校や自粛生活の呼びかけによって、外出できない・友だちと遊べない・ストレス発散できない環境におかれた子どもたちが、部屋にこもってインターネットやゲームに多くの時間を費やすようになり、ゲーム依存を心配されたご家族も多かったのではないのでしょうか。

そこで昨年度の子ども会育成研究協議会の基調講演でも「体験活動の場を増やすこと」が提言されております。幼少期に体験活動が豊富な人ほどその後の人生を豊かに迎えられるともいわれており、今一度、各連合会で子ども会活動の必要性をうながし、活力のある子ども会を実現するようお力添えを賜りたいと思います。

社会全体で子どもたちの成長を支えていきましょう！

◆多様な形で「体験」の場や機会を作っていくことが重要

小学生の頃に経験した「体験活動」(自然体験、社会体験、文化的体験)「読書」「遊び」「お手伝い」とその後の意識の関係を分析した結果、それぞれの体験の特性によってその後の意識に異なる影響が見られることがわかりました。

そのため、子どもの健やかな成長を確かなものにするためには、何か一つの体験をするのではなく、多様な体験をすることが必要です。

全ての子どもたちがさまざまな体験にチャレンジできるよう、周りにいる大人が「意図的」「計画的」にその機会や場を設けるようにすることが大切です。



出来ることから連携してやってみましょう！

今後は、全ての子ども達が置かれている環境に左右されることなく、体験の機会を十分に得られるように、皆さんで力を合わせて「多様な体験を土台として子供の成長を支える環境づくり」を進めていきましょう。



令和2年度体験活動などを通じた青少年支援プロジェクト「青少年の体験活動の推進に関する調査研究報告書」より抜粋





2022年 新年にあたり子ども会に期待する



東京都子ども会連合会
副理事長 (財務・総務担当)
江東区少年団体連絡協議会
副会長 佐藤 昌信

新型コロナウイルスが感染しだしてから2年が過ぎました。特にコミュニケーションを軸に活動する子ども会にとり大きな打撃を受けている現状にあります。

最近の感染状況を見ると、ピークが過ぎつつあるという明るい話も聞かれるようになりました。卒業式・入学式の時期を何とかクリヤーして、夏のキャンプからでも正常に戻りたいと期待しております。都子連の財政も、事業活動の延期・中止等により、桧原山荘をはじめ、財政的な赤字が進み、厳しいところがあります。早く、明るい話ができるよう、まずは感染防止に頑張ります。



東京都子ども会連合会
副理事長 (共済担当)
八王子市子供会育成団体連絡協議会
会長 岡本 夢乃

新春のご挨拶

令和四年(2022年)がスタートして時は移ろい、穏やかな日差しにいつしか春の訪れを感じる季節となりました。しかし、未だコロナ禍の終息は先が見えない状況ではないでしょうか。

八王子市子供会育成団体連絡協議会は、そんなコロナ禍の中でも希望は棄てず、例年通りにイベントの計画、準備、実施、振返りを行い、八王子市の子どもの為に精一杯邁進して行く所存です。

皆様、今年も宜しくお願い致します。



東京都子ども会連合会
副理事長 (事業担当)
江戸川区子ども会連合会
会長 金杉正成



新年あけましておめでとうございます。

11月八王子市で無事に育成研開催されてコロナ禍での子ども会活動再開のスタート出来ると希望の光明が差しかけたのも新年1月中には、オミクロン株の感染拡大が続いて活動停滞を余儀なくされ、今年こそコロナ禍の中でできる活動を都子連から発信共有することを願います。



東京都子ども会連合会部
広報部長 大久保 雄一 (八王子市)

広報部から新春のご挨拶

都子連新聞214号が発行される頃には、桜の便りも聞かれるようになっていないでしょうか。この頃にはコロナ禍が終息していることを願うばかりです。

令和四年(2022年)は東京都子ども会連合会 広報部として、昨年度は中途半端な状態で進展がなかった【都子連ポータルサイト】の立上げに全力を傾ける所存です。また、4回/年の都子連新聞についても内容を充実させて、ポータルサイトとの連携を深めて行きたいと考えています。

都子連関係団体の皆様、本年も広報部へのご協力の程、宜しくお願い致します。



東京都子ども会連合会
事業部長 川口毅 (葛飾区)



新年、あけましておめでとうございます。昨年は、未曾有のコロナ禍の中地域子ども会活動へのご賛同、育成研ご参加を賜りまして、誠にありがとうございました。

本年はコロナが落ち着くことを願ひまして、様々な活動を行えればと願っています。皆様のご健康でお過ごしいただいていることが、大前提となります。

お身体をご自愛くださるようお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

江東区 森下五丁目子ども会
令和4年1月8日(土)席書会
宿題の書初めもできて、
マトリッツオのお土産。
ハッピーなお正月でした!



八王子市子供会育成団体連絡協議会
令和4年2月5日(土)ニュースポーツ・ゲーム体験
《ポッチャ》《モルック》《ラダーベッター》3種
まん延で中止となった【新春子ども大会】の代わりに小規模で行いました。



活動紹介



江東区少年団体連絡協議会
会長 山村喜芳

「子ども会育成指導者地域別研究協議会」
三密対策を工夫しながら行いました。

江南連合 老いも若きも社会参加

ボランティアは人のためならず

砂北連合 紙の事を学ぼう リサイクルについて

西部連合 「共育」の進め

笑顔で子どもにかかわるために

南部連合 地域で育む生きる力

自助・共助・公助 近所

亀戸連合 感染合施策について

東陽連合 より良い子どもの成長



羽村市子ども会連合会
会長 北原義孝



墨田区少年団体連合会
会長 小澤 裕二

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、コロナ禍の中、羽村市におきましても子ども達の活動の場が制限されてきましたが、保護者、各団体並びに羽村市の関係者の皆様の工夫と努力により、少しずつではあるものの、子ども達の笑顔を見る機会が増えました。関係者の皆様には深く感謝申し上げます。本年は昨年以上に、子ども達がより安全安心に、笑顔あふれる活動ができる場を実現していきたいと考えておりますので、引き続き、皆様の深いご理解のもと、益々のご協力をよろしくお願い致します。

新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども会活動が困難な状況が続き、各子ども会におかれましても、運営にご苦労されておられることと存じます。

新型コロナウイルス感染防止をきっかけとし、新しい生活様式における子ども会活動を考える機会と捉え、今後の子ども会の発展と活性化に繋げていく所存であります。より充実した子ども会活動の再開と子どもたちの成長や笑顔が見られる日を願い、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願い申し上げます。



荒川区少年団体指導者連絡会
会長 田中 義久
今こそ何かを



目黒区子ども会連合会
会長 川原井さた

この3年間本当にコロナウイルス感染で活動自粛！さみしい時間を過ごしてまいりました。しかしその中でも子どもたちのための活動やそのための会合を行ってまいりました。そのひとつ、パラリンピック聖火採火式 荒川区代表になり子どもたちと心に残る経験ができました。通常より少ない活動ですが、素晴らしい仲間たちと無事に活動ができております。

初めからあきらめない、今何をするのか、そのための新たな企画をみんなで考えて歩んでおります。

本年も子どもたちのために何がどうできるか試行錯誤を基本に取り組んで行きたいと思っております。

梅の花もほころび始め春の気配を感じられる昨今ですが、当子ども会もコロナ対策でほとんど活動が出来ず、子ども達の笑顔が懐かしく感じられます。何の心配もなく活動が出来る日が来ることを祈ります。今年もどうぞよろしくお願い致します。

全国子ども会表彰は、コロナ禍で2年に亘り、子ども会育成中央会議・研究協議会が中止となり、表彰式を令和4年2月21日 東京都一ツ橋ホール（日本教育会館）で行う予定でしたが又もやまん延防止等重点措置が発令され表彰式が中止となりました。東京都子ども会連合会からは下記の方々が受賞されました。

令和2年度表彰者

受賞 おめでとう

令和3年度表彰者

◎団体表彰

- ・単位子ども会
 - 椿子ども会（足立区）
- ・ジュニアリーダー組織
 - 扇ジュニアリーダースクラブ（足立区）
- ・指導者組織及び育成者組織
 - 三小・緑小ブロック様（小金井市）

◎個人表彰

- 砂田厚美様（荒川区）
- 関口 信様（江東区）



◎団体表彰

- ・奨励賞
 - 特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会

・単位子ども会

- 押部子ども会（足立区）

◎個人表彰

- 竹島幸聖様（足立区）
- 常盤方子様（八王子市）



江戸川区子ども会連合会
「ジュニアリーダー講習会」
緊急事態宣言による中断を経て11月に再開。
区内7会場全て開講。

- ①鹿本会場…キャンプファイヤー体験
(体育館を暗くし、ライトを火に見立てて実施)
- ②西小松川・松江北会場…
水鉄砲サバイバルゲーム
- ③葛西会場…クリスマス会
- ④一之江会場…閉講式



小金井市子供会育成連合会

1月8日(土) 都立小金井公園
新春たこあげ大会 参加者 340名
ジュニアリーダー、育成者も実行委員として協力しました。



特定非営利活動法人東京都子ども会連合会

2022年度事業計画書(案)

2022年4月1日～2023年3月31日

事業の種類	事業名	実施予定日	実施予定場所
①関係組織・団体との連携、協力事業	東京都子ども会育成研究協議会	2022年11月6日(日)	一ツ橋ホール (主催:都子連・全子連)
	第55回全国子ども会中央会議・研究大会	2022年10月29日(土)～30日(日)	長野市芸術館へ派遣
	地区子ども会推進研究会	随時	事務所&Web
②リーダー、指導者、育成者の研修・育成事業	ジュニアリーダー研修大会	2022年8月10日(水)～12日(金)	東京都檜原村(檜原山荘)
③活性化交流事業	ファミリーコンサート(仮名)	2022年11月6日(日)	一ツ橋ホール(主催:都子連)
	会員交流	年1回 2022年11月6日	都内
	檜原山荘貸出・管理運営	2022年3月20日～	東京都檜原村
④調査研究資料の発刊事業	広報誌(子ども会新聞)発行	4回(春夏秋冬)	
⑤普及啓発事業	ホームページの管理運営	随時	事務所
⑥表彰の事業	通常表彰	2022年11月6日(日)	一ツ橋ホール(主催:都子連)
⑦安全教育推進事業	初級指導者養成講習会	6月	江戸川区
	関東ブロック安全啓発 中級指導者養成講習会		関東ブロックへ派遣
	安全共済会説明会	年度末	全子連ビル
⑧目的達成のための必要事項	通常総会	6月3日(金)	全子連ビル
	理事会	4回	事務所
	正副理事長会	毎月第3木曜日	事務所
	安全部会	随時開催	事務所
	総務部	随時開催	事務所
	広報部会	編集会議	事務所
	事業部会	随時	事務所
	財務部	随時	事務所

訃報 安全共済部長の江東区岡部丈太郎様が1月10日お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

～コロナ禍で運動不足によるケガを防ぐために～

新年度を迎える春、子ども会活動も活発になりますがコロナ禍で子どもも大人も体力や筋力が落ちています。事故の無い安全な活動をめざしましょう!

＜事例紹介＞

- 1, グラウンドで運動会の地区対抗リレーを走り、アキレス腱断裂
- 2, バasketボールで突き指・捻挫
- 3, ドッチボールで骨折・突き指
- 4, ソフトボールで打撲(バットで顔面殴打)
- 5, お祭りでの骨折・熱中症



【ケガ、感染症を予防しましょう!】

- 1, ウォーミングアップ(準備運動)
- 2, ストレッチを入念に(手指・手首・足首・肩・首)
- 3, 春でも熱中症に注意
- 4, コロナ感染症対策
密を避け、手洗い・マスク着用・換気をこまめに



【事故対策をしよう!】 活動前には5分間KYTを実施。参加者の共通理解を深める。

編集後記

昨年末に緊急事態宣言が解除されてから一度は再開した子ども会活動も、年初からのオミクロン株の拡大でまたしても新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用され停滞気味です。今回は子ども達への感染が多く報告されており、近所の小学校や中学校でも児童、生徒の感染の報告があるようです。子どもも含めたワクチン接種の拡大および飲み薬の普及が待たれますが、このような状況でも感染防止対策を行い、活動を続けている子ども会もありますので参考にいただければと思います。

都子連広報部 弘田暢幸